

令和5年度行政事業レビューシート (デジタル庁)

事業名	デジタルマーケットプレースカタログサイト			担当部局庁	戦略・組織グループ	作成責任者	
事業開始年度	令和5年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	調達支援・改革担当	杉本敬次	
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する 計画、通知等	・デジタル社会の実現に向けた重点計画(令和5年6月9日閣議決定) ・新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画2023改訂版(令和5年6月16日閣議決定)		
政策	情報通信技術等の適正・効率化に関する施策の推進			主要経費	その他の事項経費		
施策	情報システムの整備						
政策体系・評価書URL	https://www.digital.go.jp/policies/assessment/						
事業の目的 (5行程度以内)	デジタルマーケットプレース(以下「DMP」という。)は、事業者があらかじめデジタル庁と基本契約を締結した上でカタログサイトにクラウドソフトウェアサービス(SaaS)等を登録、行政機関(国・地方公共団体)が本カタログサイトより最適なサービスを選択し、個別契約を行う契約手法のことである。DMPを導入することにより、行政機関の情報システム調達の迅速化、IT スタートアップ等の多様な事業者の参入を促進する。						
現状・課題 (5行程度以内)	行政機関では、ユーザー中心のサービス提供や新規テクノロジーの導入を迅速に実現できる環境整備を目指している。他方、現状、行政機関については、市場のソフトウェアベンダー情報が限定的であるため、特定のITベンダーに依存し、より良いサービス導入の機会損失が発生している。また、受託開発が多いことから調達の手続だけでも通常3ヶ月以上かかり、迅速なシステム導入を実現することが困難になっている。また、事業者については、行政機関のサービスニーズが不透明で、営業コストが高く、調達手続が煩雑であるために参入コストが高く、調達プロセスに慣れているITベンダーが有利になっている状況が生じており、このような調達市場における行政機関・事業者間の情報の非対称性の解消といった課題に対応することが必要となっている。						
事業概要 (5行程度以内)	デジタルマーケットプレースカタログサイトについては、「デジタル社会の実現に向けた重点計画(令和5年6月9日閣議決定)」に基づき、令和5年度までにデジタルマーケットプレースに関するカタログサイトのプロトタイプ構築・実証を実施することとしており、当該実証事業にて構築するプロトタイプのカテゴリサイトについて、行政機関が実際にDMPの仕組みを利用して調達が行うことが出来る本番サイトへの改修・構築を行うもの。						
事業概要URL	-						
実施方法	委託・請負						
補助率等	-						
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)	予算の 状況	当初予算(A)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
		補正予算(B)	-	-	-	-	-
		令和5年度第1次補正予算	-	-	-	-	-
			-	-	-	-	-
			-	-	-	-	-
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	-
		予備費等(E)	-	-	-	-	-
		計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	-	-	-	-	-
		執行額(G)	-	-	-	-	-
執行率(%) =(G)/(F)	-	-	-	-	-		
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]	-	-	-	-	-		
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項目	令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)			
	計(A)	-	-				

活動内容① (アクティビティ)		中小・スタートアップを含む多様なITベンダーによるサービスのカタログサイトへの登録を促進することによりクラウドソフトウェア市場の可視化を行うことにより、行政機関が登録されたサービスから目的にあったものを検索して簡易によりよいサービスを発見できる仕組みを構築する。								
↓										
活動目標及び活動実績① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		カタログサイトに登録されているクラウドソフトウェアサービスの充実化	クラウドソフトウェアサービス登録数	活動実績 当初見込み	累計数	-	-	-	-	-
					累計数	-	-	-	100	300
↓ 成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)		現状の課題である行政機関・事業者間の情報の非対称性の解消を実現するためには、カタログサイトを整備した後、カタログサイトが十分に認知され、実際に利用されることが肝要なため、当該目標を設定した。								
成果目標及び成果実績①-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 6年度	
		デジタルマーケットプレイスカタログサイトが認知され、本カタログサイトが利用される。	カタログサイトへ事業者及び行政機関ユーザーのログイン数	成果実績	百件	-	-	-	-	
				目標値	百件	-	-	-	10	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		-								
↓ 成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)		-								
成果目標及び成果実績①-2 (中期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 年度	
		-	-	成果実績						
				目標値						
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		-								
↓ 成果目標①-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)		デジタルマーケットプレイスカタログサイトを活用して行政機関が情報の非対称性の解消を実現していることを確認するため、行政機関がカタログサイトを活用して情報収集に利用される必要がある。								
成果目標及び成果実績①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 6年度	
		行政機関がデジタルマーケットプレイスカタログサイトを活用して情報の非対称性の解消を実現している。	行政機関ユーザーによるソフトウェア検索件数	成果実績	百件	-	-	-	-	
				目標値	百件	-	-	-	5	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		-								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
		-								
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								
		-								

